

【第一回採譜からの音づくりにおける、桜井先生からのコメント】

○山のいのち・草花のいのち・木のいのち・自然のいのちをお送りしますが、以前JVから案をもらった使用場面と、一致しないものもあると思います。

採譜した物のメロディーの傾向があるので、音楽を聞いて決めてください。

○コードは私が完全に決めてしまうと自由がないのと、コード進行に歌にくいなどの問題がある場合が想定されるので、多少の変更は可能です。

○なお、A・B・C などメロディーがありますので、そのリピートなどは、編曲される方が決めてください。

○A 主旋律 B・C は副旋律、展開 として考えています。

◆山のいのち

雪の大山・雲に隠れた山々のためか、メロディーは、雲の存在が感じられる響きです。

採譜は驚くほど正直に、その時の自然の姿を写しとるのです。

同じようなパターンの繰り返しになっているのは、採譜の数の少なさも関係あるかもしれません。

◆木のいのち

寒い時期の木々の様子が少しは感じられますが、大地に根を張ったゆるぎない木の姿が浮かびます。

◆草花のいのち

春の芽生えや、草花の華やぎが感じられます。

◆自然のいのち

「誰かの足あと」から先のA'部分(2ページ目)には、自然以外から素材をとっているものが含まれていますが、「もし足りなければこういうメロディーもできましたよ。」という気持ちで付け加えました。